

令和6年度 広島県府中市における府中駅周辺の活性化(広島県府中市)

ロジックモデルを用いた介入方策案のブラッシュアップ

- 事業を起点として目指す成果・目標を整理した上で、目標・課題を起点として改めてより有効な手段を検討し、効果検証を実施する試行的取組の内容を以下のとおり設定した。

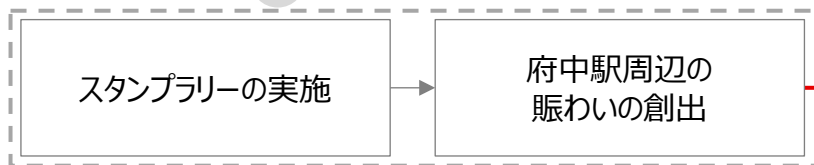
介入案 (アウトプット・アクティビティ)

成果 (初期アウトカム)

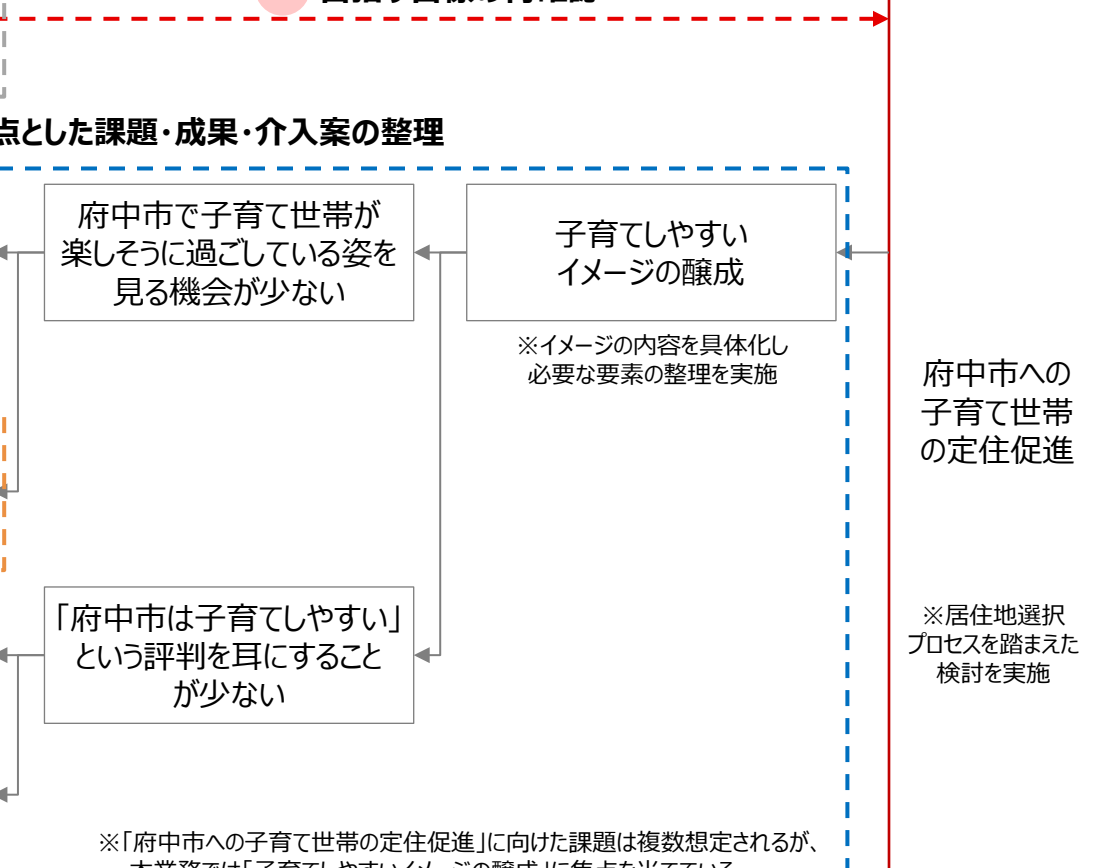
課題 (中期・長期アウトカム)

目標 (インパクト)

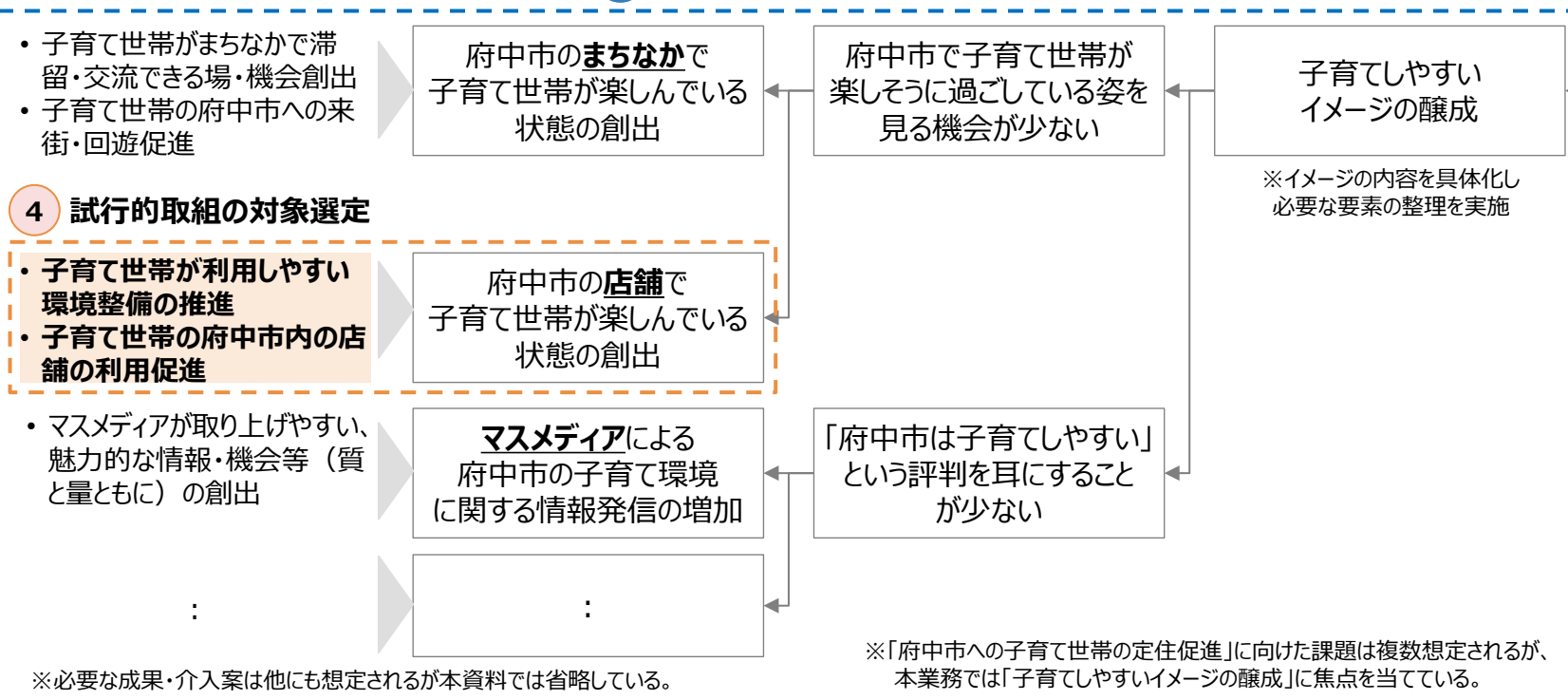
1 当初仮説の確認



2 目指す目標の再確認



3 目標を起点とした課題・成果・介入案の整理



※必要な成果・介入案は他にも想定されるが本資料では省略している。

※「府中市への子育て世帯の定住促進」に向けた課題は複数想定されるが、本業務では「子育てしやすいイメージの醸成」に焦点を当てている。

試行的取組

試行的取組の前提条件

- 府中市こどもの国ポムポム（以下、ポムポム）には市内外から多くのこども連れの家族が訪れている。
- 一方、ポムポムを利用することも連れ家族の多くはポムポムのみを利用している。
- 背景には、府中駅周辺に**魅力的な施設が多くあることを十分に認知していない**ことや、施設は認知している一方で**小さなこどもを連れての利用に抵抗を持つ人**が少なくない可能性が考えられる。

試行的取組の内容

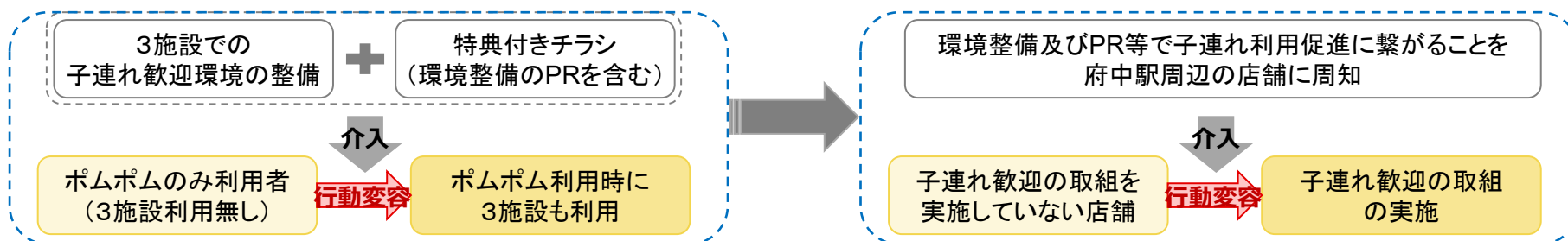
- 回遊促進を図りたい3つの施設（道の駅内のレストラン（一步）、複合施設内のカフェレストラン（So-netmo）等）を対象として、「子連れ歓迎の環境整備」を行い、ポムポムに来訪したこども連れ家族に3つの施設がこども連れを歓迎している旨の周知及び特典付きチラシ（右図）を配布することで、こども連れ家族の回遊促進を図る。

分析結果の活用方針

- 今回の結果を踏まえ、対象とした3施設では子育て世帯の利用促進に向けた取組を検討する。
- 当該結果を域内施設に分かりやすく伝えることで、域内施設が子育て世帯の利用促進に向けた取組の参考にする。



<試行的取組の設計>

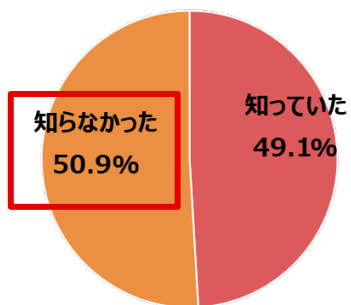


令和6年度 広島県府中市における府中駅周辺の活性化(広島県府中市)

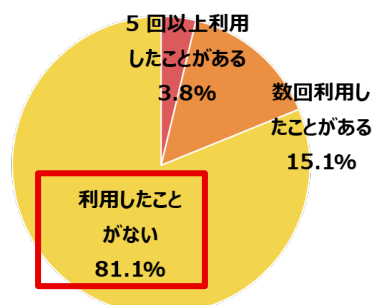
効果検証の結果

- 本業務では人流データ・アンケートデータ等を用いて分析を実施した。
- 人流データを用いて差の差分分析 (Difference-in-difference)などの分析を実施したが、冬季の実施、かつ、実施期間も限られていたこともあり、試行的取組が人流 (来場者数) に与える効果について統計的に有意な結果は確認されなかった。
(→詳細は概要版の巻末資料 (分析の詳細) p.11 – 16を参照)
- アンケートでは、サンプルサイズが小さいものの、店舗利用者のうち約50%がチラシにより店舗を初めて認知し、約80%が初めて店舗を利用していた。また、店舗利用理由としては「子供を歓迎していることを知ったから」が45.7%と最も多かった。

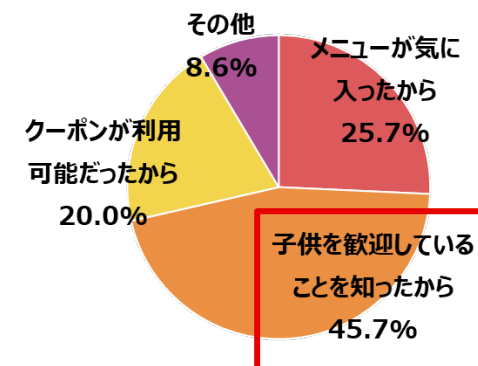
設問 1 : 今回利用したお店をチラシを見る前から知っていましたか? (n=53)



設問 2 : このお店を利用したことがありましたか? (n=53)



設問 3 : 今回、このお店を利用した理由について教えてください。 (n=66)



※回答数は、以下のとおりである。

- 設問 1、2 では53
- 設問 3 では66 (重複回答あり)

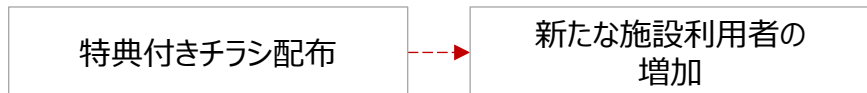
令和6年度 広島県府中市における府中駅周辺の活性化(広島県府中市)

本調査を通じて得られた示唆

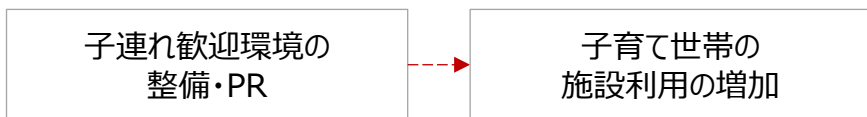
事業・取組 (アウトプット・アクティビティ) 成果 (初期アウトカム) 課題 (中期・長期アウトカム) 目標 (インパクト)

地域活性化に係る示唆

- ① **特典付きチラシ配布による新たな利用者増の可能性** ・特典付きチラシの配布により、地域内の新たな施設利用を促すことができた。
 ・新たな施設利用を促すためには、特典付きチラシも手段となる可能性がある。



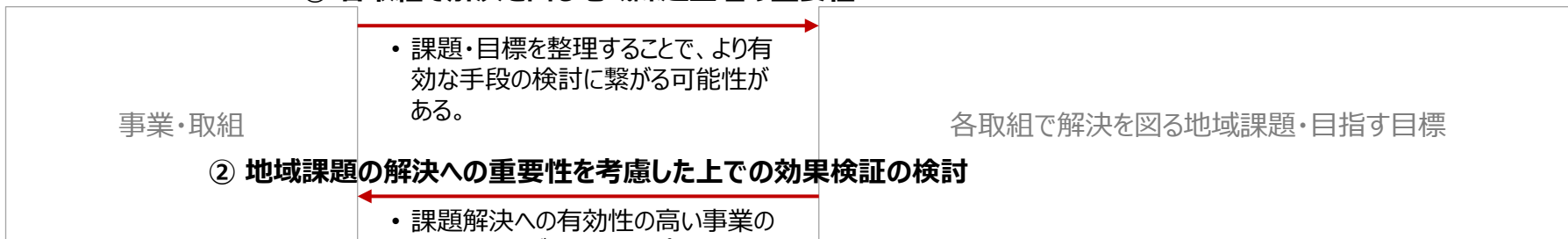
- ② **子連れ歓迎環境の整備・PRが子育て世帯の利用に繋がる可能性**



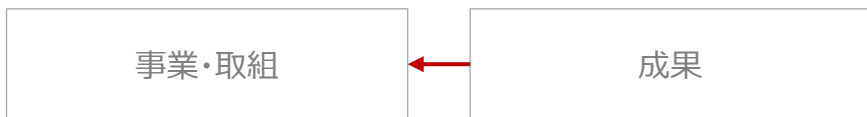
- ・「お子様連れ歓迎店」という表記の特典付きチラシの配布により、子育て世帯の施設利用を促進することができた。
- ・子連れ歓迎環境の整備・PRにより子育て世帯の飲食店などの施設利用に繋がる可能性がある。

今後の効果検証に係る示唆

① 各取組で解決を図る地域課題整理の重要性



② 地域課題の解決への重要性を考慮した上での効果検証の検討



③ 目指すべき成果の具体化とその実現に必要な要素の整理

- ・成果を具体化することで、成果発現にむけた事業・取組の具体的な工夫方法の検討が可能となる。

④ 具体的な活用を想定した上での検証方法

- ・厳密な効果検証には金銭的、時間的な負担を要するため、検証結果の活用方法や必要性を踏まえて実施を検討することが重要である。